

実力編
よくでるポイント講座
介護の基本①

9

第34回 問題20

Gさん（70歳，男性，要介護2）は、パーキンソン病（Parkinson disease）と診断されていて、外出するときは車いすを使用している。歩行が不安定なため、週2回通所リハビリテーションを利用している。Gさんは、1年前に妻が亡くなり、息子と二人暮らしである。Gさんは社交的な性格で地域住民との交流を望んでいるが、自宅周辺は坂道や段差が多くて移動が難しく、交流ができていない。

Gさんの状況をICF(International Classification of Functioning, Disability and Health：国際生活機能分類)で考えた場合、参加制約の原因になっている環境因子として、最も適切なものを1つ選びなさい。

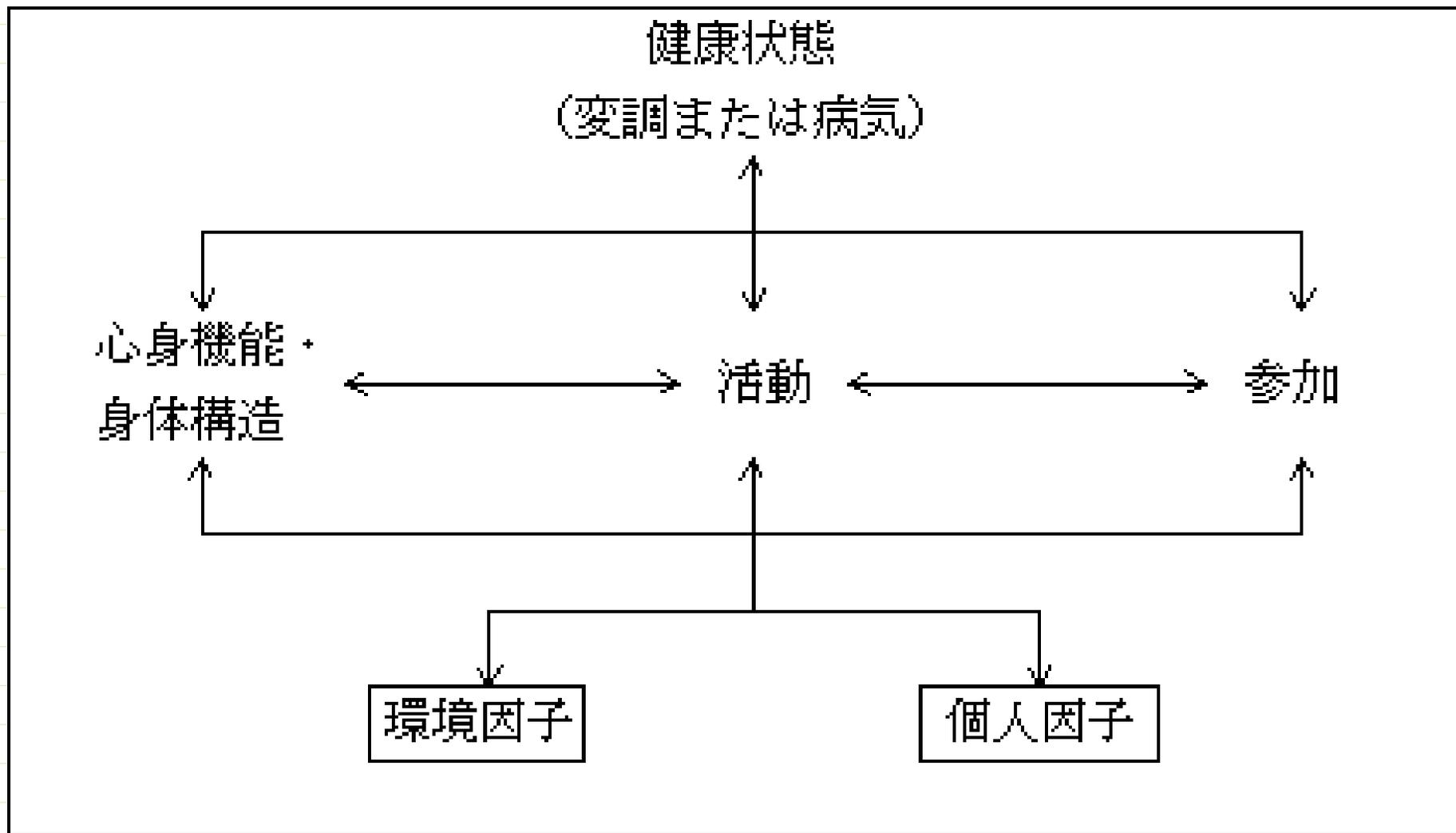
- 1 パーキンソン病(Parkinson disease)
- 2 不安定な歩行
- 3 息子と二人暮らし
- 4 自宅周辺の坂道や段差
- 5 車いす

Answer

1

※問題は一部改編、情報更新等を施しております

ICFの構成要素間の相互作用



資料：「国際生活機能分類－国際障害分類改訂版－」（日本語版）
の厚生労働省ホームページ掲載について、厚生労働省

ICFの構成要素間の相互作用

